

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	糸球体腎炎の新しい免疫組織学的診断法の開発 [倫理審査受付番号：第 号]
研究責任者氏名	山根木 康嗣
研究期間	倫理審査承認日 ~ 2024 年 5 月 31 日
研究の対象	以下に該当する患者さんを研究対象とします。
	疾患名：糸球体腎炎/ 診療科名等：耳鼻咽喉科
	受診日：西暦 2004 年 9 月 2 日 ~ 2014 年 9 月 1 日
研究に用いる 試料・情報の種類	試料等 カルテ情報 アンケート その他 ()
研究目的・意義	<p>目的</p> <p>自分を破壊（自己免疫）するように誤作動を起こす細胞（自己抗原認識 CD4⁺T 細胞）は、正常な生体作用で計画される細胞死（アポトーシス）に誘導され、速やかにマクロファージで食べられ処理されるためほとんど残りません。しかし、年齢とともに正常な生体作用が低下すると自己抗原認識 CD4⁺T 細胞が蓄積することで自己免疫疾患の発症リスクが増します。しかし、自己抗原認識 CD4⁺T 細胞を簡便に測定する方法はありません。</p> <p>私たちは、アポトーシス細胞が G 蛋白質共役型受容体 (GPCR) に属する細胞走化性の補体系 C5a 受容体 (C5aR) を発現し、同時にアポトーシス細胞とアポトーシス細胞を食べて処理するマクロファージを C5aR で架橋化する S19 リボソーム蛋白質 (RP S19) 多量体を産生することを発見しました。RP S19 多量体によるアポトーシス細胞とマクロファージの接着機能を失った実験動物で、腎臓の糸球体を自己抗原と認識する CD4⁺T 細胞が観察されました（糸球体腎炎モデルマウス）。私たちの報告以降、類似のサイトカイン系細胞走化因子でも多量体が報告され、この多量体機能を失った実験動物でリンパ節の浮腫が観察されました（リンパ節症モデルマウス）。</p> <p>そこで、自己抗原認識 CD4⁺T 細胞の新規細胞表面マーカーが走化性 GPCR と想定しました。この理論を利用して、世界で初めて自己免疫疾患の糸球体腎</p>

	<p>炎の高感度な免疫組織学的診断法を開発します。</p> <p>意義</p> <p>系球体腎炎組織およびリンパ節に存在する CD4⁺T 細胞の走化性 GPCR の発現を免疫組織学的に数値化することで、生化学的な血清アルブミンよりも高感度に自己免疫疾患の系球体腎炎の発症初期段階を判定します。</p>
<p>研究の方法</p>	<p>病理組織（系球体腎炎患者の腎組織および末梢リンパ器官）を収集します。</p> <p>病理組織中の T 細胞数を CD4 抗体陽性細胞数として数値化します。</p> <p>病理組織中の T 細胞で走化性 GPCR を発現する細胞数を抗体陽性細胞数として数値化します。</p> <p>病理組織中のマクロファージ細胞数を CD11b 抗体陽性細胞数として数値化します。</p> <p>健常人と急性系球体腎炎（Acute glomerulonephritis: AGN）患者または慢性系球体腎炎（Chronic glomerulonephritis: CGN）患者の血清アルブミン値を X 軸に、健常人と AGN 患者または CGN 患者の血清イムノグロブリン A 値を Y 軸にプロットして、AGN 患者または CGN 患者の相関定数を測定します。</p> <p>上記の グラフの X 軸を健常人と AGN 患者または CGN 患者の腎臓・末梢リンパ器官の CD4⁺T 細胞で走化性 GPCR を発現する細胞数を浸潤マクロファージの細胞数で割った値と入れ替え、AGN 患者または CGN 患者の相関定数を測定します。</p> <p>血清アルブミン値による相関定数 GPCR による相関定数の場合免疫組織学的診断法の有効性と評価します。</p>
<p>外部への試料・情報の提供</p>	<p>データを匿名化(特定の個人を識別不可)して保管し、必要な場合には今後の研究に用いることがあります</p>
<p>研究組織</p>	<p>研究責任者：山根木 康嗣</p> <p>実務責任者：西浦 弘志</p> <p>分担者：長澤 康行</p>
<p>個人情報の取扱い</p>	<p>あなたからの同意書については研究責任者が厳重に管理します。またこの研究から得られた情報・成果が教育のために使用されたり、学術目的で発表されたりすることがありますが、氏名をはじめとして、あなた個人を特定できるような情報が公表されることはありません。</p>
<p>本研究に関する連絡先</p>	<p>診療科名等：病理学・病理診断部門</p> <p>担当者氏名：西浦 弘志</p> <p>[電話]（平日 9:00～16:00）0798 - 45 - 6432</p>